積善

題字　第241世天台座主　玄深師(恵亮院蔵)

餘慶寺だより

編集・発行　上寺山餘慶寺

〒701－4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所　TEL　086－942－0186　FAX 086－942－0187

恵亮院　TEL/FAX 086－942－3788

本乗院　TEL　086－942－2791　FAX 086－239－5823

吉祥院　TEL/FAX 086－942－3789

定光院　TEL　086－942－2356　FAX 086－944－1490

明王院　TEL　086－943－1030　FAX 086－943－1069

圓乗院　TEL　086－942－2356

ホームページアドレス　https://yokeiji.or.jp/

奉納書道展、締め切り迫る！　各院または納経所へお届けください。

一口法話

「まっくらやみ」なこの世界

本来、お空(そら)は「まっくらやみ」であります。そんな中、奇跡的に、太陽や星ができました。そしてそれにともなって、明かりやぬくもりが生まれました。

暗闇では、姿や形も、なんにも見えません。でも、そこには何かがあります。

よく見えないものに、光が当たれば、色やかたちが見えてきます。今まで見えなかったものが、明らかになります。

それと同じように、こころの暗闇にも、光をあてでみます。光があたれば、原因がわかり、結果がわかり、その経過や、その後の見通しも立ってきます。

けれども、見えることによって、いい人もいれば、いいことばかりじゃない人もでてきます。見えなければよかったことまで見えたりもします。見える人にも、見えない人にも、悩み苦しむ人にも、喜び楽しむ人たちにも、心地よい明かりやぬくもりが、求めに応じて与えられれば、その人は癒(いや)されます。

一八八二年、明治十五年に東京銀座に日本初の電灯がともされ、今年で一三七年目。電気が急速に普及し、今や夜でも、明るいのが当たり前の社会でありますが、本来、世の中は「まっくらやみ」なのであります。

「まっくらやみ」なこの世界。それがまずありきと考えてみてはいかがでしょうか。そうすれば、光の大切さ、光のありがたさ、そして知らず知らずのうちに他からいただいていた、明かりやぬくもりに、気付くことができるのかも知れません。

餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日（於　薬師堂）

毎月８日　午前10時～　（８月はありません。）
護摩祈祷をしています。ご祈祷のお申し込みは随時納経所で受け付けています。

観音縁日（於　本堂）

毎月18日　午前８時～
みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお詣りください。

毎月第二日曜日　午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

餘慶寺境内(けいだい)紹介
『両界マンダラ三重塔巡り～案内看板～』

前号でも紹介させていただいた西大寺×餘慶寺合同企画「両界マンダラ三重塔巡り」、皆さますでにお参りされましたでしょうか。令和の時代とともに始まり、多くの方にお参りいただいております。

それぞれの三重塔には「大日如来」が鎮座されており、西大寺が「胎蔵界大日如来」、餘慶寺が「金剛界大日如来」になります。両三重塔をお参りいただくと、吉井川を挟んで両界マンダラを完成させることができます。

この度、掲載写真のような餘慶寺版の案内看板が完成しました。お参りの仕方やその功徳を分かりやすく示しておりますので、お参りの際にはご覧いただければと思います。

餘慶寺の三重塔巡りは塔の正面（看板設置場所）から時計回りに三周します。四方の正面には蓮台石が配置されていますので石に乗り、金剛界大日如来のご真言「オンバサラダトバン」をお唱えしましょう。

両界マンダラ三重塔巡り専用のご朱印や、両寺院の仏様にちなんだ念珠玉もありますのでお参りの後にはそちらもご覧くださいね。

よけいじ寺子屋だより

会場　餘慶寺会館（十四時～）

寺子屋写真館

今後の予定

☆『食事と観想』	講師　定光院副住職　西野祐聖師	九月十四日(土)
☆『せとうちの民話』	講師　せとうち語りの会　うぐいす様	九月二十九日(日)
☆『寺宝展特別講演』		十月十三日(日)
☆『観音経を読む』	講師　恵亮院住職　土井内祐真師	十月二十二日(祝・火)
☆『お経に親しむ』	講師　恵亮院名誉住職　横野祐彰師	十一月九日(土)
☆『楽しく年賀状づくり』	講師　日本画家・岡山日展会会員　神戸淑子先生	十一月三十日(土)

※どなたでも聴講できます。
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。
十一月三十日は十四時～十六時開催です。

編集後記

九月に入りそろそろ冷房もつけなくていいかなと思ってもついつい エアコンのリモコンが離せれない編集の定光院副住職です(汗)

最近家族皆で書き方や書き順などこうしなければいけないといった難しいルールがなく、筆ペンを使って自由に筆を走らせて味のある文字を描く「己書」を習い始めました。

まだまだ初心者ですが少しずつ上達していくのがとても楽しく日々練習しております。少し前の積善にありましたが、やはり何か新しい事に挑戦することはとてもいい事ですし皆様もこの秋何か挑戦してみてはいかがでしょうか。

まいられぇ岡山　寺社仏閣を巡るスタンプラリー開催中

餘慶寺水まつりのご報告

八月三十一日(土)十八時より、餘慶寺本堂・境内において水まつり(施餓鬼会・万灯会)を厳修いたしました。

施餓鬼会とは、阿難が釈尊に教えを請い、餓鬼の予言により残り三日の命であった寿命を延ばすことができた説話にもとづく仏教行事で餓鬼だけでなく、先祖代々の供養を行い、同時にみなさん自身の福徳延寿をお祈りさせていただく法要です。

また万灯会では、ご先祖様の菩提をお祈りし奉納していただきました万灯会灯籠や瀬戸内市在住の竹あかりアーティスト・竹吉様による竹あかりの演出、寺遊びinよけいじにて子ども達が思い思いの色に塗った仏様を灯した展示など、様々な灯りに囲まれました。また、岡山で活動中のEGリビング様によるサックスの音色が響き渡りいつもと違う餘慶寺が観られたと思います。

寺遊びinよけいじのご報告

七月二十九日(月)に第三回寺遊びinよけいじが行われました。

今回もたくさんの子ども達が参加し普段の生活では体験できないお寺ならではの一日を過ごしました。

午前中はみんなで大きな声でお経を唱え、境内散策をし、三重塔巡りで大日如来さまにご挨拶をしました。

また仏様の絵にそれぞれが思い描く色を塗り、作品を護摩祈祷して普段見れない護摩の炎に驚いたりとお寺でしかできない体験をしました。

お昼ご飯でも残さずきれいに食べる事を目標として食べ物への感謝の心を育みました。

午後からは紙ひこうき大会を開催し普段はゲームやＹｏｕＴｕｂｅが娯楽だった子達も熱心に紙ひこうきを折りみんなで誰が一番飛ばせれるかを競い合いました。最後にかき氷を食べ夏の思い出の一つになったかと思います。

来年も子ども達のご参加お待ちしております。

薬師護摩祈祷　護摩木三百円　木札授与三千円／五千円

餘慶寺　寺宝展

十月十三日(日)九時三十分～十六時

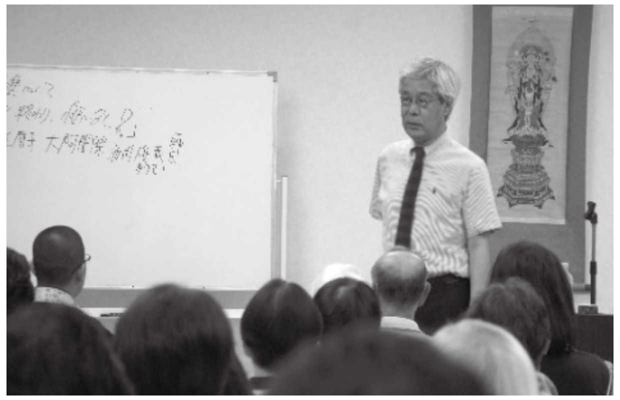
会場　本堂・薬師堂・餘慶寺会館

今年で第十七回となりました餘慶寺寺宝展が右記日時に開催されます。

今回も餘慶寺に祀られている様々な仏像や寺宝を展示致します。

また、就実大学名誉教授の土井通弘先生にお越しいただき上寺山の神様と仏様についての特別講演が行われます。

そのほか、カフェや出店など、様々なイベントをご用意して皆様のお参りをお待ちしていますので、お誘い合わせの上、ぜひ上寺へおいでください。

なお、詳細につきましては別紙チラシをご覧下さい。

昨年の寺宝展の様子